

医師・看護師・介護職員の大幅増員を 日本医労連増員闘争ニュース

第 59 号

2010 年 1 月 8 日

日本医労連増員闘争本部

TEL:03-3875-5871

FAX:03-3875-6270

12/25福岡県ナースウエーブの会が対県交渉

「働いている方が辞めないための魅力ある職場づくりが必要」

「看護職員確保対策を国と協議しながら総合的に充実・強化していきます」

「ふやせ看護師！！福岡県ナースウエーブの会」(以下:「会」)は、12月25日(金)に対県交渉を行いました。会から6人、県当局は医療指導課課長・課長補が対応しました。

会から提出していた「安全・安心の看護実現を求める要望書」に県当局から初めての文書回答があり、説明を受けました。会は、県内すべての事業所へのアンケート調査結果(回答率10%)を踏まえての看護実態をもとに、具体的に要望し、意見交換を行いました。

看護師不足については「時代の要請に応えられる看護職員を質・量ともに確保するために、引き続き養成力の確保、離職防止、再就業支援などの看護職員確保対策を国と協議しながら総合的に充実・強化していきます」と回答しました。「未就労の方の現場復帰も大切ですが、いま働いている方が辞めないための魅力ある職場づくりが必要だと

考えています」「そのためにも看護管理者研修に力を入れて実施しています」との発言もありました。

第7次看護職員需給計画策定に向けては、各事業所の看護部長に調査票記載をお願いし、具体的な状況を把握して策定していく予定とのことでした。6次の時にも、県として321人の不足として認識していたが、現場の声をしっかりと掌握して策定したいとの答弁でした。会の要望も含めて検討することを改めて求めていきました。

その他にも、看護師定着対策としての院内保育・学童保育事業の充実、看護学生への資金の貸付制度の拡充、民間の復職支援セミナー活動への支援、看護師養成所の状況など、さまざまな視点から看護問題の改善に向けて意見交換しました。



要望を発言する参加者(奥の5人)



要望書を渡す手嶋会長(右側)